

国際コンファレンス アジア市場の統合と金融革新

セッション1：世界金融危機後の金融市場改革とアジアへのインプリケーション

世界金融危機後の金融市場改革とアジアへのインプリケーション

河野正道

金融庁金融国際政策審議官

概要

アジアの多くの国について、貯蓄投資バランスは貯蓄超過を示しているが、アジアにおけるポートフォリオ投資の流れはそれほど多くはない。アジアからのクロスボーダーのポートフォリオ投資の流れの多くは、欧米に向かっている。一方、外国からのポートフォリオ投資のアジアへの流れの大半は、欧米からである。アジアはその貯蓄超過の効率的な利用について課題に面しており、持続的な経済成長に資するよう安定的にアジア域内での資金フロー循環の強化が行われるならば、そこから恩恵を受けられる。

近年の世界金融市場の混乱にも関わらず、アジアの証券市場は着実に成長し、また、債券市場も発展してきている。しかしながら、アジアの国々の市場の発展の段階については、顕著な多様性が見られる。経済への安定した資金供給を強化するため、市場の多様性を最大限に考慮した上で、アジアはその金融市場の発展や金融インフラの強化について、さらなる努力を行うべきである。

さらに、G20のコミットメントへの対応として、店頭デリバティブ改革の観点からの国際的な金融規制改革のアジアへの影響についてもプレゼンテーションにおいて言及されている。店頭デリバティブ市場改革に関連する課題としては特に、クロスボーダー取引に対する規制の重複・齟齬及び当局間による一層の国際的な調整・協調枠組みの必要性の問題があり、また、グローバルもしくはローカルなCCPの利用やLEIのような検討を要する論点も存在する。